

図表 7-5-4 ケース D の支援経過

経過 月数	ケース D				
SFA 項目	病気・障害の理解	就労生活	コミュニケーション	家族関係	
1-3 ヶ月	障害特性を学び、感情のコントロール、人間関係構築の仕方を、「居場所」を通じて学ぶ		英語、ダーツ、プログラミング等のプログラム実施	家族が特性を理解し、関わり方を学ぶ	
4-6			居場所を通じたモニタリングを継続的に実施		
7-9				徐々に、利用者同士で打ち解け、利用者間で頼りにされる存在となる	
10-12		就労の場作りの準備		通信制高校に通う利用者の学習指導を行う	
13-15					
16-18					
19-21	障害特性を学び自己理解を徐々に深める			発達障害の特性を学ことで配慮ある関わり方となる	
22-24					
25-					